

## 2022年度 研究業績一覧

石上 浩美（地域こども学科准教授）

著書：新・保育と言葉：発達・子育て支援と実践をつなぐために；嵯峨野書院 pp.25-55, 117-129 令和 4.5（2022）共著

著書：新・保育と環境 改訂新版；嵯峨野書院 pp.19-27 令和 4.8（2022）共著

学会発表：保育内容領域「言葉」と音楽表現の融合（1）：「わらべうたのこころ」は「子どものこころ」；日本教育心理学会第 64 回総会発表論文集 p.180 令和 4.8（2022）  
単独

学会発表：保育内容領域「言葉」と音楽表現の融合（2）：「わらべうたのこころ」は「子どものこころ」；日本発達心理学学会第 34 回大会 3PM1-P-PS25 令和 5.3（2023）  
単独

その他：妊産期から産褥期の母親による歌唱の胎児・新生児への愛着促進の効果（1）；日本発達心理学会第 34 回大会プログラム 5AM1-K-RT10 令和 5.3（2023）共同

大石 祥寛（地域こども学科准教授）

研究報告：教員養成課程学生における子どもの運動遊び指導実践の教育的効果；奈良佐保短期大学研究紀要第 30 号 pp.1-12 令和 5.3（2023）単著

大山 宮和瑚（地域こども学科講師）

研究報告：動画教材による弾き歌い実技指導の試み：小学校教諭・保育者を目指す学生を対象に；奈良佐保短期大学研究紀要第 30 号 pp.13-19 令和 5.3（2023）単著

福鹿 慶子（地域こども学科講師）

著書：新・保育と言葉：発達・子育て支援と実践をつなぐために；嵯峨野書院 pp.102-105 令和 4.5（2022）共著

研究報告：指導計画作成の指導の教育効果に関する一考察：保育実習指導より；奈良佐保短期大学研究紀要第 30 号 pp.21-30 令和 5.3（2023）単著

屋木 瑞穂（地域こども学科講師）

学術論文：樋口一葉のユゴー受容の一側面：『暗夜』と『ノートルダム・ド・パリ』；語文（大阪大学国語国文学会編）；第 119 輯 pp.14-26 令和 4.12（2022）単著

吉田 香代子（地域こども学科教授）

著書：新・保育と言葉：発達・子育て支援と実践をつなぐために；嵯峨野書院 pp.97-107 令和 4.5（2022）共著